AVerMedia

ゲームレコーダー

ER130

日本語

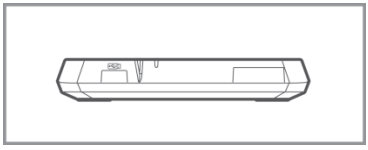
取扱説明書

第１章　パッケージ内容……02
1.1　他に必要な物……04
第２章　各部の名称……05
2.1　本体上面パネル……05
2.2　赤外線センサー……06
2.3　LED ランプ……06
2.4　接続端子（前面、背面）……07
第３章　リモコン……08
第４章　準備と初回起動時の設定……11
4.1　対応の画面解像度……11
4.2　ケーブルの配線……13
4.3　ゲーム機との接続……13
4.4　USB ディスクのセットアップ……15
4.5　初回起動時のセットアップ……16
第５章　基本操作……18
5.1　動画・静止画の撮影/保存……18
第６章　メニュー画面……21
6.1　録画ファイル/静止画の再生……23
6.2　録画ファイルの編集……25
6.3　設定……29
補足：トラブルショーティング……41
使用、安全性についての情報/お問い合わせ……52

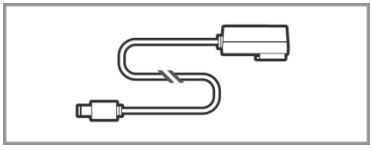
このたびは、「ゲームレコーダー ER130」（以下、「ER130」）をお買い上げ頂きましてありがとうございます。正しい手順でご利用頂くため、この取扱説明書をご一読頂けますようお願い致します。

第１章　パッケージ内容

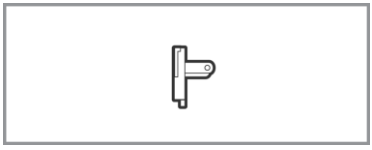
開封後は、以下のものが入っていることを確認して下さい。もし不足している、又は破損しているなど不備のある場合は、購入店に相談して下さい。



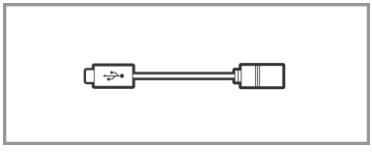
ゲームレコーダー ER130 本体



アダプター (5V 2A)

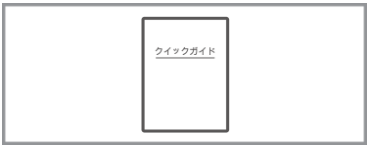


日本用コンセントプラグ

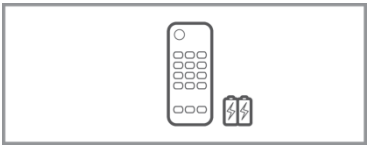


DC→ミニ USB 変換ケーブル

取扱説明書（本書）



クイックガイド

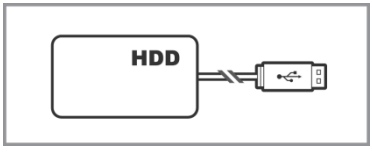


リモコン、単４形乾電池２個

- 販売される地域により、付属品は異なる場合があります。
- ご自身が権利を有するもの、または著作権者の許諾を得た素材で利用して下さい。
  本製品はいかなる著作権、知的所有権の侵害にも利用できません。
- AVerMedia は本製品のファームウェアのアップデートを行っています。最新のファームウェアを使うことで、改良された機能を利用できるようになります。アップデート情報は弊社ホームページ（http://www.avermedia.co.jp）で確認できます。トップページにある検索窓から、製品名で検索して下さい。第 7 章で手順を紹介しています。
- 利用の上で問題や疑問が生じた場合は ER310 の製品ページの Q&A をご参照下さい。

1.1 他に必要なもの

本製品で録画・動画再生・編集機能を利用するには、別売りの外付け HDD が必要になります。



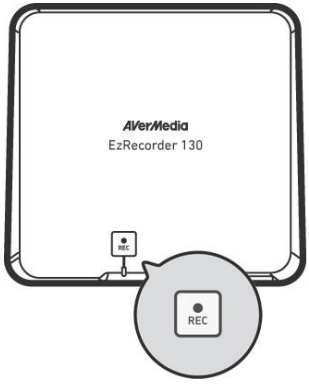
USB 接続タイプの外付け HDD

- USB2.0 / USB 3.0 の外付け HDD をお勧めします（USB1.0 の外付け装置には対応しておりません）。
- USB メモリで録画する際は、早送り・コマ落ちが発生する可能性がありますので、録画にはおすすめしません。
- NTFS 形式でフォーマットする必要があります（FAT32 のファイルシステムに対応できません）。
  ※「HP USB Disk Storage Format Tool」という PC ソフトで HDD を NTFS へフォーマットすることをお薦めします （使用方法は ER130 の製品ページの FAQ をご参照下さい）。
- HDD の最大対応容量は 2TB 以下です。
- USB ハブを使用した HDD や USB メモリへの接続には対応しておりません。
- USB メモリ/HDD 以外の記憶媒体(DVD ドライブ等)へ直接録画することはできません。
- ER130 は全ての市販の外付け HDD には対応することを保証できません。もしご使用の HDD が対応できない場合は、別の HDD と交換して下さい。
- ハードディスクに記録されたデータの消失・破損に関して、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承下さい。ハードディスクの寿命や事故によりデータが消失する恐れがありますので、ハードディスクのデータは定期的にバックアップを行って下さい。大切なシーンを録画される場合は、事前に試し録りするなど、機器が正しく動作することを確認してからご利用ください。

第２章　各部の名称

2.1　本体上面パネル

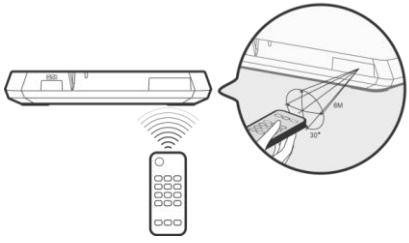
本体上面にあるボタンで電源の ON/OFF, 録画の開始/中止を行います。



# ボタン	説明
	【電源オン・オフ】 [●REC]ボタンを押すと、電源が入ります。 ４秒間押し続けると強制的に電源がオフになります。 **【録画開始・終了】** 録画の開始／中止できます。 （ [●REC]ボタンを一回押すと、録画を開始します。 もう一回を押すと、録画を中止・保存します。）

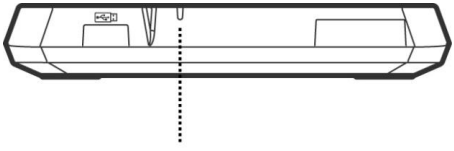
2.2 赤外線センサー

リモコンは下記の赤外線センサーに向けて操作して下さい。正確に操作するには、角度は真正面から 30°以内、距離は 6 メートル以内で使用して下さい。



2.3 LED ランプ

前面の LED ランプは本機の状態を表しています。

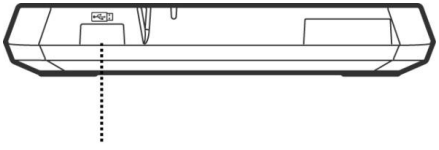


LED ランプ

動作状態	色の状態
電源がオン	緑に点滅
記録の準備が完了	緑に点灯
録画中	赤くゆっくり点滅
静止画の記録	一度赤く点滅
記録不可	二度赤く点滅
映像入力無し	二度赤く点滅
映像入力あり	緑に点灯
シャットダウン中	緑に点滅
録画停止中	赤く点灯
録画保存中	赤くすばやく点滅
電源不足	赤と緑が交互にすばやく点滅
電源オフでパススルーが有効	オレンジに点灯

2.4 接続端子

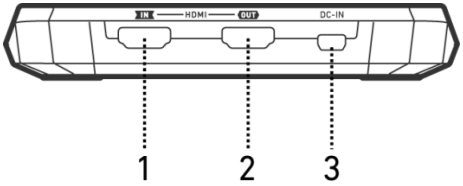
2.4.1 前面



USB 2.0 端子

- この USB 端子は USB 接続の HDD や USB メモリ用です。記録や、ファームウェアのアップデートを行う時に使用します。
- USB ハブを使用した HDD や USB メモリへの接続には対応しておりません。
- USB メモリ/HDD 以外の記憶媒体(DVD ドライブ等)へ直接録画することはできません。
- この USB 端子を使ってパソコンと接続しても、利用できる機能はありません。

2.4.2 背面



1　HDMI 入力

2　HDMI 出力

3　電源入力

- パソコンの USB 端子で接続しても、電源不足の為利用することができません。
- 電源不足の場合は、正常に動画や静止画を録画することができません。

第３章 リモコン

POWER
SOURCE
MODE
MENU
INFO
OK
RECALL
BACK
REW
STOP
FF
PAGE-
SLOW
PAGE+
QUALITY
DISK INFO
DELETE
F1
F2
F3
AVerMedia
RM-NN
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23

#	ボタン	説明
1		電源を入れる（オン）／スタンバイモードにする（オフ）
2		メニューを開く／閉じる
3		矢印ボタンで項目を選択し、中心の［OK］で決定する
4		直近の記録を再生する
5		動画の録画を開始する／中止する
6		選択したファイルを再生する 再生速度を変更していた場合、通常（x1）再生に戻す
7		録画／再生を中止する
8		巻き戻し（押す度に x2、x4、x8、x16、x32 と高速化）
9		前のページに戻る
10		画質設定の画面を開く／閉じる
11		メニュー画面で、安全に USB ディスクを取り外せるようにする （各機能利用中は画面内の指示が優先）
12		画面内に指示がある場合に利用可能
13		画面内に指示がある場合に利用可能
14		（使用しません）
15		利用中の録画モード、映像入力、音声入力を表示する

16		前の画面に戻る
17		静止画を記録する（動画再生中も可能）
18		動画の再生を停止する（［OK］か［ ］で再開） 録画を停止する（［ ］か［ ］で再開）
19		スロー再生（1/2 倍速） もう一度押すとフレーム単位再生（27 ページに詳細）
20		早送り（押す度に x2、x4、x8、x16、x32 と高速化）
21		次のページに進む
22		選択したファイルを削除する
23		ディスクの情報を開く／閉じる

第４章　準備と初回起動時の設定

4.1　対応の画面解像度

ER130 は、下記の解像度の HDMI 入力に対応しています。

HDMI
480i/576i
480p/576p
720p (50 & 60Hz)
1080i (50 & 60Hz)
1080p (50 & 60Hz)

ER130 は、ほとんどの解像度で正確に記録できます。ただし、1080p で入力した場合は以下のようになります。

元の解像度	ディスプレイ（テレビ）の解像度	録画される動画の解像度
1080p (60fps)	1080i (60fps)	1080p (30fps)
1080p (50fps)	1080i (50fps)	1080p (25fps)

画質を変えた場合の推定録画可能時間

HD 1080p

	最高 (20 Mbps)	良い (18 Mbps)	長時間録画 (15 Mbps)
1TB	100 時間	110 時間	125 時間
2TB	200 時間	220 時間	250 時間

HD 720P

	最高 (20 Mbps)	良い (15 Mbps)	長時間録画 (10 Mbps)
1TB	100 時間	125 時間	200 時間
2TB	200 時間	250 時間	400 時間

HD 1080i

	最高 (15 Mbps)	良い (12 Mbps)	長時間録画 (10 Mbps)
1TB	125 時間	150 時間	200 時間
2TB	250 時間	300 時間	400 時間

SD 480i(576i)/480P(576P)

	最高 (7.5 Mbps)	良い (5 Mbps)	長時間録画 (3 Mbps)
1TB	250 時間	400 時間	650 時間
2TB	500 時間	800 時間	1300 時間

*画質を上げると、より多くのディスク容量を使用します。

4.2 ケーブルの配線

同梱のクイックガイド若しくは製品ページ
（http://www.avermedia.co.jp/product_swap/er130.html ）を参照して下さ い。

4.3 ゲーム機との接続（→詳しくは WEB 版）

ゲーム機設定：ER130 は 1080p/30fps まで対応できるので、PS4、Xbox One、Xbox 360、Wii U などの HDMI 入力対応のゲーム機を接続する時に、ゲーム機の解像度を改めて設定してください。

4.3.1 PlayStation 4（略称：PS4）

① PS4 のメニュー画面で、【設定】を選択して、【サウンドとスクリーン】→【映像出力設定】→【解像度】の順に選択して、「自動」を選択するか、もしくは「1080p / 1080i / 720p / 480」など利用したい解像度を選択して下さい。

② ER130 は HDCP 未対応となっており、録画をするには HDCP を無効化にする必要があります。PS4 のメニュー画面で、【設定】→【システム】→【HDCP を有効化】のチェックを外して下さい。

※ HDCP を無効にすると、ゲームソフト以外の、映画 BD/DVD などを再生する時に起動が出来ないため、再度【HDCP を有効化】にチェックを入れて下さい。

4.3.2 Xbox One

① Xbox ボタンを押して、ダッシュボードに戻ります。メニューボタンを押した後に、【設定】を選択します。

② [本体] エリアで【画面とサウンド】→【テレビ解像度】の順に選択して、720p または 1080p のどちらかを選択してください。

4.3.3 Xbox 360

① Xbox 360 のダッシュボード画面で、【設定】→【システム】→【本体の設定】→【画面】→【ハイビジョン（HDTV）設定】の順に選択してください。

② 「1080p/1125p(D5)」を選択するか、もしくは「1080/1125 (D3) / 720p/750p (D4) / 480p/525p(D2)」など利用したい解像度を選択して下さい。

③ 【設定】→【システム】→【本体の設定】→【オーディオ】→【デジタル出力】の順に選択して、「デジタルステレオ」を設定して下さい。

4.3.4 Wii U

① Wii U のメニュー画面（Wii U Game Pad）で、【本体設定】→【テレビ】の順に選択（タッチ）して下さい。

② 「テレビの電源を ON にしてから設定してください。」と表示されるので、「OK」をタッチして下さい。

③ 「テレビとの接続方法を設定する」→「HDMI」の順に選択して、「1080」を選択するか、もしくは「1080i / 720p / 480p / 480i」など利用したい解像度を選択して下さい。

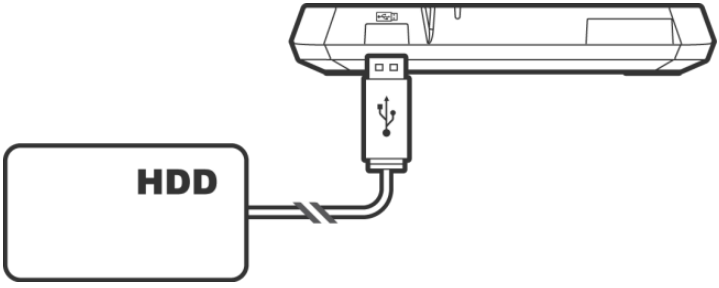
④ 「テレビに映像が表示されていますか？」と表示されたら、「OK」を選択（タッチ）して下さい。

PS3・映像機器・スマホ/タブレット、映像機器（ビデオカメラ/デジカメ、BD/DVD）を接続する場合は、HDMI から出力されたコンテンツは HDCP（不正コピーを防止する著作権保護技術）がかけられているため、パススルーには対応しておりますが、録画はできません。また、各機器の仕様制限により、接続機器の画面の表示ができない、異常表示の場合もありますのでご了承ください。

4.4 USB ディスクのセットアップ

ER130 は USB 接続の外付け HDD（または SSD、USB メモリ）に対応しています。動画や静止画をこれらのディスクに記録できます。（以下、USB 接続の外付けハードディスクは「USB ディスク」または「外付けディスク」）

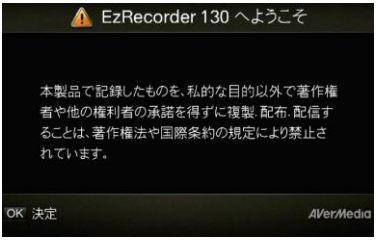
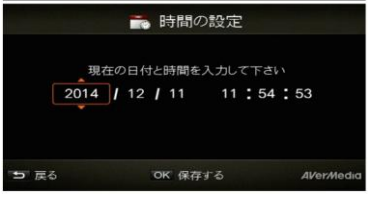
USB ディスクを前面の USB 端子に接続します。

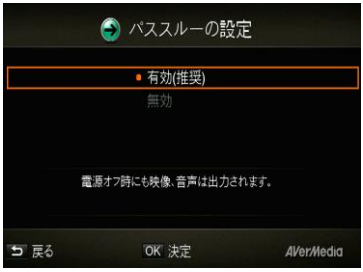


- 動画や静止画を記録する場合、動作の安定のため USB ディスクは HDD を推奨しています。
- 未使用の USB ディスクか、NTFS 形式でフォーマット済みの USB ディスクのご使用を推奨しています。使用できる USB ディスクの最大容量は 2TB です。
- HDD をフォーマットする際は、「HP USB Disk Storage Format Tool」というソフトで一度 NTFS へフォーマットする事をお薦めします。使用方法は製品ページの FAQ を参照して下さい。
- ファイルの破損などを避けるため、取り外す際はケーブルを抜く前にメニュー画面で［F1］を押し、安全な取り外しを実行して下さい。
- ハードディスクに記録されたデータの消失・破損に関して、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承下さい。ハードディスクの寿命や事故によりデータが消失する恐れがありますので、ハードディスクのデータは定期的にバックアップを行って下さい。大切なシーンを録画される場合は、事前に試し録りするなど、機器が正しく動作することを確認してからご利用ください。

4.5 初回起動時のセットアップ

初めて ER130 を起動した時には、初期設定画面が現れます。以下の手順でセットアップを進めて下さい。

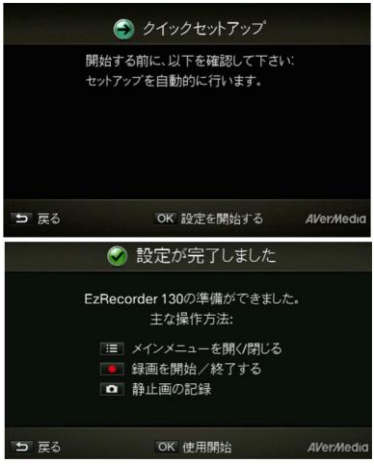
画面表示	解説
	**Step 0. 設定の開始** 本機を起動すると、「ようこそ」という画面が表示されるので、[OK] で次に進みます。
	Step 1. 言語の設定 「ようこそ」の画面が表示されたら、リモコンの▲/▼を使って使用する言語を選びます。［OK］で次に進みます。
  	**Step 2 : タイムゾーン** ①［▲/▼］でお住まいの地域を選択し、［OK］で決定します。日本国内の場合は「アジア」です。 ②［▲/▼］で時間帯を選択し、［OK］で決定します。日本国内の場合は「GMT+09:00 東京／ソウル」です。 ③ 現在の日付と時間を確認・入力して、[OK]で保存します。



Step 3：パススルーの設定

ER130 の電源が入っていない時に、映像をそのままディスプレイに通す（パススルー）機能です。無効の場合、ディスプレイに何も映りません。「有効（推奨）」を選択してから、［OK］で次に進みます。

※注意：有効にすると、ER130 の電源がオフの状態でもテレビ（もしくはディスプレイ）に映像信号が送られます。無効の場合は、電源オフ時にテレビに何も映らなくなります。



Step 4：クイックセットアップ

HDMI ケーブルでゲーム機、テレビと接続し、外付けディスクを本機と接続してから、［OK］で設定を開始します。設定が完了したら、「設定が完了しました」というメッセージが現れます。［OK］で使用を開始します（録画・静止画を撮影することができます）。もし正常に設定ができない場合は、接続するゲーム機、HDMI ケーブル、外付けディスクなどを確認して下さい。或いは、下記をご確認下さい。

① ［メニュー］→［設定］でディスクを設定してください。

② ゲーム機側の映像出力設定を確認して下さい。

③ HDDMI ケーブルを再接続もしくは別の HDMI ケーブルと交換して下さい。

④ 外付けディスクをフォーマットするか、もしくは別の外付けディスクを使用して下さい。

第５章　基本操作

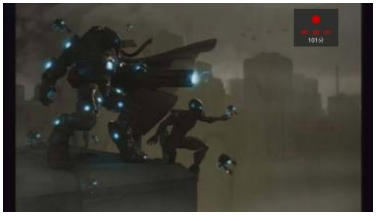
本章では ER130 の基本的な機能、「動画／静止画の保存」「再生」の操作方法を解説します。

- 記録したファイルは、設定した「記録先」に保存されます。「記録先」については第 6 章（④ディスクの管理）で解説します。

5.1　動画･静止画の撮影/保存

本製品では動画や静止画を保存することができます。次のページから順次解説していきます。

- 製品は画面表示でステータスを確認できる「スタンダードモード」と、遅延をより低減できる「リアルタイムモード」を備えています。動作モードは「設定」→「表示モード」で変更できます。6.3 で解説しています。

画面表示	解説
	**ゲームプレイを録画する** ［ ］ で録画を始めます。 もう一度［ ］を押すか、［ ］で録画を終了します。

録画の一時停止と再開

途中で記録したくない場面がある場合は、録画を一時停止できます。再開するまでの映像は保存されません。

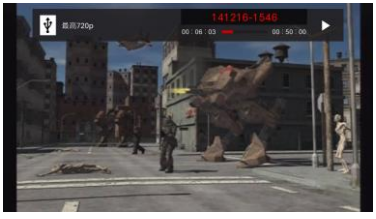
録画中に［ ］で一時停止します。

もう一度［ ］を押すか、［ ］で録画を再開します。

静止画の保存

［ ］で表示されている画面を静止画として保存します。

［ ］を長押しすると連続で保存します。一度に 5 枚まで保存できます。



直近のファイルの再生

［RECALL ］で 1 番最近保存した動画／静止画を再生します。

動画の再生中に［STOP］で中止できます。

［►］を押すと 30 秒スキップ、［◄］で 10 秒戻ります。

動画の再生中に静止画を保存する

方法 1：

[ ] を押すと静止画を保存します。

方法 2：

ステップ 1：

[SLOW] を押して動画をスロー再生にします（1/2 倍速）。もう一度押すとフレーム単位での再生になります。または

[ ] を押して一時停止し、[PAGE-] と [PAGE+] で静止画を保存したいフレームを選びます。

ステップ 2：

[ ] で静止画を保存します。狙ったシーンを保存するのに便利な方法です。

ディスクの情報

[DISC INFO] を押すと、ディスクの情報を確認できます。ここで表示されるのは、ディスク全体の容量、使用済み容量、空き容量です。

第６章　メニュー画面

このメニュー画面では、記録した動画／静止画の管理、その他設定の変更ができます。

1　鑑賞･編集･管理機能

2　設定機能

3　録画可能な時間

4　時間

画面表示	解説
	基本的な操作 ［MENU］を押してこの画面を表示します。 この画面を閉じるには［MENU］か［BACK］を押します。 ［▲/▼］で項目を選択し、［OK］で決定、サブメニューに移動します。 サブメニューでも同様に［▲/▼］で項目選択、［OK］で決定します。 ［BACK］で前の画面に戻ります。 この画面で［F1］を押すと、USB ディスクを安全に取り外しできます。

6.1 録画ファイル／静止画の再生

ここでは ER130 で記録した動画と静止画の再生、編集、管理を解説します。

ファイル形式：

動画	MP4（コーデック： H.264、音声：AAC）
静止画	JPEG

- ER130 で作成したファイルのみサポートされます。デジタルカメラなど、本機以外の機器で作成された動画／静止画ファイルは再生に失敗する可能性があります。
- 録画ファイルを編集ソフトで再編集されますと、ER130 で認識されなくなりますので、ご注意ください。

画面表示	解説
	操作方法 ［◄/►/▲/▼］でファイルを選択します。 ［F1］でファイルの並び方を変更します。並び方はファイルの名前順、変更時間順、サイズ順、種類順の 4 種類です。 ［F2］でサムネイルモードとリストモードとを切り替えられます。 ファイルを選択して［F3］を押すとファイルの編集ができます。ファイル名の変更もここで行います。 ［PAGE+］で次のページに進みます。 ［PAGE-］で前のページに戻ります。 ［MENU］で最初のメニュー画面に戻ります。

動画の再生

ファイルを選択して［ ▶ ］か［**OK**］**で再生を始めます。**

［ ⏸ ］か［OK］で停止します。

［ ▶ ］か［OK］で再開します。

［ SLOW ］でスロー再生になります（1/2 倍速）。

［ REW ］で巻き戻します。押す度に 2 倍、4 倍、8 倍、16 倍、32 倍速と高速に巻き戻します。

［ FF ］は早送りです。巻き戻し同様、押す度に 2 倍、4 倍、8 倍、16 倍、32 倍速と高速になります。

再生速度を変えている最中に［ ▶ ］を押すと、等倍速の再生に戻ります。

［ STOP ］で再生を中止します。

［ INFO ］で再生中のファイルの情報を表示します。

静止画の表示

ファイルを選択し、［ ▶ ］か［OK］で表示します。［ STOP ］か［ BACK ］で一覧に戻ります。

6.2 録画ファイルの編集

この章では ER130 で録画した動画の編集のやり方を解説します。

画面表示	解説
	編集する動画を選択 ［◄/►/▲/▼］で編集したい動画を選択します。 [F3]でファイルを選択します。
	① ファイル名の変更 左のメニューで、「ファイル名の変更」を選択します。
	新しいファイル名を入力します。［▲/▼］で下に表示されている候補から文字を選択、［◄/►］でどの文字を編集するか選択します。 ［F1］で文字種を変更します。 ［BACK］で変更をキャンセルし、元の画面に戻ります。 ［OK］で変更を保存します。 ［DELETE］で文字を全て消去します。

② 動画の編集：

動画編集を開始します

左のメニューで、「録画した動画を編集する」を選択します。

動画編集の操作説明

最初に編集画面での操作方法を表示します。

［◄/►］で画面を切り替えられます。
［OK］で編集画面に移ります。

編集モード

編集モードでは、録画した動画の不要な部分を削除できます。

まず動画に「マーク」を付け、区切りを作成します。今後、この区切りを「シーン」と呼びます。

ステップ１：

［ ］で再生するか、［▲/▼］で時間を指定して［OK］を押し、「マーク」を付けます。このマークとマークの間がシーンとなります。動画の始点と終点は始めからマークが付いた状態になります。マークの付いたところでもう一度［OK］を押すと、マークを消すこともできます。［F2］で全てのマークを消せます。

ステップ 2：

［◄/►］でシーンを選び、［OK］で削除する指定をします。この時点ではまだ削除されません。再度［OK］を押すと削除の指定を解除できます。

［F1］で時間指定とシーン指定を切り替えられます。

シーンを削除指定した状態で［▶］を押すと、そのシーンをスキップした動画を再生（プレビュー）できます。

ステップ 3：

［F3］を押すと、編集を反映した動画を書き出します。元の録画した動画はそのまま残り、新しい動画ファイルが作成されます。

編集した動画の保存

[F3]を押すと、「編集した動画を保存する」という画面が現れます。

所要時間は使用するディスクによって変わります。長時間、高画質の動画はファイル容量が大きくなり、より時間がかかります。

［OK］で動画を保存します。

［BACK］で編集モードに戻ります。

保存中の画面

中心のバーが進行状況を表しています。

［ ］でキャンセルできます。

［F1］を押すとこの画面を消し、入力している機器の映像を表示できます。保存はバックグラウンドで実行されます。リモコン上のどのボタンを押しても、この画面に戻る事ができます。

保存完了

［OK］を押して編集モードを終了します。

［F1］で編集を続けます。

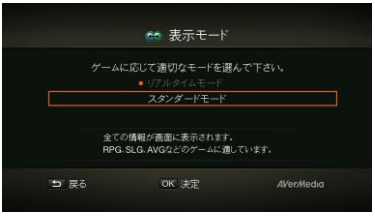
- 編集する動画は 1 時間以内に収めることを推奨しています。
- 本製品を使用して録画したデータを、私的な目的以外で著作権や他の権利者の承諾を得ずに複製、配布、配信することは、著作権や国際条約により禁止されています。
- ハードディスクに記録されたデータの消失・破損に関して、当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承下さい。ハードディスクの寿命や事故によりデータが消失する恐れがありますので、ハードディスクのデータは定期的にバックアップを行って下さい。大切なシーンを録画される場合は、事前に試し録りするなど、機器が正しく動作することを確認してからご利用ください。

6.3 設定

「設定」では入出力映像設定、画質設定、予約録画、表示モードなどを変更できます。

画面表示	解説
 	基本的な操作 ［▲/▼］で項目を選び、［OK］で決定します。 ［ BACK ］で前の画面に戻ります。 ［ MENU ］でメニュー画面に戻ります。

画面表示	解説
	① 言語 ［▲/▼］で言語を選び、［OK］で決定します。

画面表示	解説
	**② 表示モード** 標準ではリアルタイムモードに設定されています。 ［▲/▼］でリアルタイムモードとスタンダードモードを切り替えられます。
	リアルタイムモード 格闘、アクション、シューティング、レース、リズムゲームなど、表示の遅延が許されないジャンルではこちらを選んで下さい。全ての処理はバックグラウンドで行われ、画面にアイコンなどを表示しません。 *何かしらのトラブルが発生した時は、画面上に表示が現れる場合があります。 録画の状態を確認するには［ MENU ］を推して下さい。 ※注意：リアルタイムモードでは、メニューボタンを押してから開くまでに真っ暗な画面が現れることがあります。メニューが開くまでの時間はディスプレイ／テレビの種類によってまちまちです。
	スタンダードモード **【スタンダードモード】** 録画中、画面右上に情報が表示されます。表示にわずかな遅延が発生するため、RPG、シミュレーションゲーム、アドベンチャーなどのゲームに適しています。

画面表示	解説
	③ 時間と日付 ［▲/▼］で項目を選び、［OK］で決定します。
	日付の形式 ［▲/▼］で表示形式を選択し、［OK］で決定します。
	タイムゾーン ステップ 1 ［▲/▼］でお住まいの地域を選択し、［OK］で決定します。日本国内の場合は「アジア」です。 ステップ 2 ［▲/▼］でタイムゾーンを選択し、［OK］で決定します。日本国内の場合は「東京／ソウル」です。
	時間の設定 ［◄/►］で項目を選び、［▲/▼］で数字を調整します。［OK］で変更を保存し、前の画面に戻ります。

夏時間

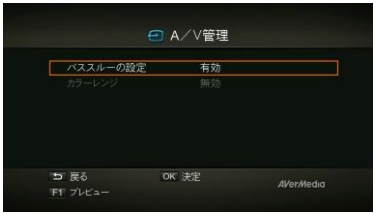
［▲/▼］で夏時間の有効／無効を選択し、［OK］で決定します。

画面表示	解説
	④ ディスクの管理 ディスクの設定 ステップ 1 ここでファイルの記録先を変更します。動画と静止画で記録先を変えることはできません。 * このマークはディスクが十分な書き込み速度を備えていることを表します。 このマークは書き込み速度が不十分な為録画ができない事を表しています。前者のマークが表示されているディスクに交換してから再設定して下さい。 ステップ 2： ［▲/▼］で記録先のディスクを選び、［OK］で決定します。 ステップ 3： ［▲/▼］でフォルダーを選び、［OK］で決定します。 ステップ 4： ［F1］で変更を保存します。

ディスクの情報

［F1］ディスクの総容量、記録済み容量、空き容量を確認できます。また、ディスクのフォーマット（初期化）や USB ディスクを安全に取り外しできます。

※注意：USB ディスクのフォーマットは保存されているデータを全て消去します。もしデータが入っている場合は、作業の前にバックアップして下さい。フォーマット中は絶対に電源ケーブルを抜かないで下さい。

画面表示	解説
	**⑤ A／V 管理** ［▲/▼］で項目を選択し、［OK］で決定、サブメニューに移動します。
	パススルーの設定 ［▲/▼］で A／V パススルーの有効／無効を選択し、［OK］で決定します。 ※注意：有効にすると、ER130 の電源がオフの状態でもディスプレイに映像信号が送られます。無効の場合は、電源オフ時にディスプレイに何も映らなくなります。

カラーレンジの設定

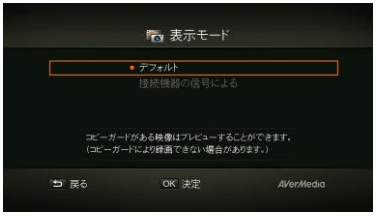
［▲/▼］で無効、制限あり、フルレンジから選び、［OK］で決定します。通常は無効で使用し、発色に異常がある場合に変更して下さい。

画面表示	解説
	⑥ 動画／静止画 ［▲/▼］で項目を選択し、［OK］で決定、メニューに移動します。
	動画の画質 ［▲/▼］で動画の画質を最高、良い、長時間録画から選び、［OK］で決定します。
	静止画の画質 ［▲/▼］で静止画の画質を最高、良い、まあまあから選び、［OK］で決定します。

自動保存

［▲/▼］で自動保存の有効／無効を選び、［OK］で決定します。

無効にすると、録画を中止した際にファイルを保存するか確認されます。

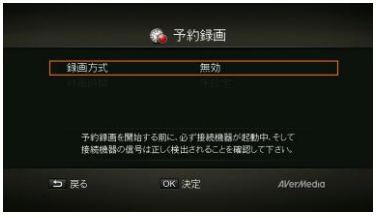


⑥ 動画／静止画

表示モード

［▲/▼］で「デフォルト」、「接続機器の信号による」を選び、［OK］で決定します。

※注意：「デフォルト」から「接続機器の信号による」に変更すると、画面が一時的に真っ黒になる事がありますが、約 10 秒～30 秒お待ち頂くと回復します。

画面表示	解説
	**⑦ 予約録画** ここで予約録画機能を設定することができます。［OK］を押して、サブメニューに移動します。 ※注意：予約録画を開始する前に、必ず接続機器が起動中、そして接続機器の信号が正しく検出されていることを確認してください。
	録画方式 ［▲/▼］で録画方式を無効、単発、毎日から選び、［OK］で決定します。
	予約時間 ［◄/►］で項目を選び、［▲/▼］で数字を調整します。［OK］で変更を保存し、前の画面に戻ります。

画面表示	解説
	⑧ ウォーターマーク 有効にすると動画にロゴが表示されます。ロゴの種類と表示する位置、スケールを変更できます。 ［▲/▼］で項目を選択し、［OK］で決定、サブメニューに移動します。 ［ BACK ］で前の画面に戻ります。 ［F1］でプレビューを表示します。
	ウォーターマークの表示 ［▲/▼］でウォーターマークの表示をオン、オフから選び、［OK］で決定します。
	表示種類 ［▲/▼］で表示するウォーターマークの種類を選びます。 ［OK］で変更を保存します。 ［ BACK ］で前の画面に戻ります。

表示位置

［▲/▼］でウォーターマークの位置を選びます。

［OK］で変更を保存します。

［BACK ］で前の画面に戻ります。

表示スケール

［▲/▼］で表示スケールを選択し、［OK］で決定します。

［BACK ］で前の画面に戻ります。

画面表示	解説
	⑨ **ファームウェア更新** 以下の手順で、USB ディスクを使ってファームウェアをアップデートして下さい。 ステップ 1： http://www.avermedia.co.jp/download/index.html から ER130 の最新のファームウェアをダウンロードします。 ステップ 2： ダウンロードしたファイルは圧縮されているため、解凍して下さい。解凍したファイルを USB ディスクのルート（フォルダーに入れていない状態）にコピーし、ER130 に取り付けます。 ステップ 3：

左の画面で［F1］を押してアップデートを開始します。
［ BACK ］で前の画面に戻ります。

ステップ 4：

ER130 は自動的にファームウェアのファイルを認識し、アップデートします。アップデートが完了した後は、［OK］を押して再起動して下さい。

- ファームウェアのアップデートには 10～15 分程度かかります。
- アップデートには USB ディスクの空き容量が最低 256MB 必要です。
- USB2.0 ディスクを使用して下さい。
- 問題が発生した場合は、一度 USB ディスクの内容を全て消去し、上記の手順を始めからやり直して下さい。
- アップデート中は、絶対に ER130 の電源を切ったり、AC アダプターを抜いたり、USB ディスクを抜いたりしないで下さい。アップデートが中断されると、復旧できなくなる恐れがあります。

画面表示	解説
	⑧ 初期化 左の画面で［F1］を押すと、全ての設定を工場出荷状態に戻します。 ［ BACK ］で前の画面に戻ります。

画面表示	解説
	⑨ 製品情報 本製品の製品名、モデル名、ファームウェアなどを表示します。 ［F1］で表示名を変更します。 ここで変更した表示名は、ウォーターマークに表示されます。
	表示名を変更する 本機に分かりやすい名称を付けましょう。 入力する際は、［◄/►］で編集する文字を選び、［▲/▼］で文字を選びます。 ［F1］で文字種を変更します。 ［ DELETE ］で文字を全て消去します。 ［OK］で編集内容を保存します。

補足：トラブルショーティング

最新のファームウェアの入手方法：

1. http://www.avermedia.co.jp/download/index.html を開きます。
2. 該当するモデルナンバー（本製品は「ER130」）のファームウェアをダウンロードします。

ディスクに関するトラブル	対処方法
メインメニューのディスクアイコンに感嘆符（!）が現れています。	ディスクが正常に設置されていないか、ディスクの仕様が対応できないという表記です。
ディスクが認識されない	設定が正しく行われているか確認して下さい。下記の方法で確認して下さい： ① リモコンの「MENU」ボタンを押して、メイン メニューの画面で、【設定】→【ディスク管理】→【ディスクの設定】と進み、設定を確認します。 ディスクが正しく取り付けされているか確認し、ER130 を再起動して下さい。 ② 電源の供給が安定しているかを確認して下さい。録画中に不安定になると失敗します。また、ディスクも認識しなくなる場合があります。 ③ ディスクは必ず NTFS 形式でフォーマットして下さい。 FAT32 など他の形式の場合、正常に認識しないことがあります。NTFS 形式でフォーマットする必要があります（FAT32 のファイルシステムに対応できません）。HDD をフォーマットするには、「HP USB Disk Storage Format Tool」という PC ソフトで HDD を NTFS へフォーマットする事をお薦めします （使用方法は ER130 の製品ページの FAQ をご

	参照下さい）。 ④ ER130 は全ての市販の外付け HDD に対応することを保証できませんので、もし上述のことを行っても使用ができなければ、別の HDD を交換して下さい。 **注意：** ※ HDD の最大対応容量は 2TB 以下です。 ※ USB ハブを使用した HDD への接続には対応しておりません。 ※ USB メモリ/HDD 以外の記憶媒体(DVD ドライブ等)へ直接録画することはできません。 ※ USB1.0 の外付け装置には対応しておりません。USB2.0 / USB 3.0 の外付け HDD をお勧めします。 ※ USB メモリで録画する際は、早送り・コマ落ちが発生する可能性がありますので、録画にはおすすめしません。
USB ディスクに知らないファイルができている	ER130 は、動作を高速化するためのファイルを自動的に生成します。削除しないで下さい。ファイル名は以下のようなものです： ‘.avm_chk_tmp’ ‘.avm_speed_test’ ‘.hd_keepalive’ ‘.db_file’ ‘.thumb’ ‘.index’

ER130 から USB 接続ディスク(外付け HDD)を安全に取り外す際のご注意。

ER130 から USB 接続ディスクを取り外す際は、次の手順で行ってください：

Step 1. リモコンの「MENU」ボタンを押して、 メニューを開きます。

Step 2. 「メインメニュー」の画面で、付属リモコンの「F1」ボタンを押してください。

Step 3. 「F1」ボタンを押した直後は ER130 内部で USB 接続ディスクを取り外す処理を行っていますので、 「ディスクを外す、お待ち下さい…」というメッセージが表示されてから約数秒待ってください。

Step 4. 「USB 接続ディスクを取り外せました、USB 接続ディスクを安全に取り外す準備ができました。」というメッセージが表示されてから、USB 接続ディスクを抜いてください。

注意：

※ 正しい手順で行われないと、USB 接続ディスク内のデータが壊れる可能性があります。

※ ER130 の電源が切れた状態の場合は、いつでも取り外すことができます。

映像の表示に関するトラブル	対処方法
「映像信号がありません」というメッセージが出る	テレビに映像信号が正しく出力されていない可能性があります。下記の方法で確認して下さい： **① ケーブルが正しく接続されているか確認して下さい：** ・ ER130の電源を落とし、ケーブル配線を再確認して下さい（HDMI の入力と出力が反対になっていると、画面は映りません）。 ・ 映像を入力しているゲーム機、ER130両方のHDMIケーブルを挿し直して下さい。テレビが HDMI 入力端子を複数備えている場合は、他の端子を試して下さい。 ・ テレビの HDMI 端子の「HDMI 入力 1 」以外の HDMI 入力端子に接続する際は、ご使用のゲーム機により、テレビ側では入力される映像が表示されない可能性があります。可能であれば、テレビの HDMI 端子の「HDMI 入力 1 」に接続して下さい。 **② ゲーム機の映像出力設定が正しく設定されているかどうか確認して下さい：** ゲーム機の映像出力設定 / 出力解像度が正しく設定されていなければ、映像表示ができません。ゲーム機側の映像出力設定が、お使いのテレビに適合しているかどうか一度ご確認ください。 **③ ゲーム機を直接テレビに接続し出力映像解像度を切り替えてください。その後、ER130 に再接続してください。**

	④ コンバーター・変換器を使用しないでください（対応しておりません）。 **⑤ HDMI 出力端子が奥まできちんと挿さっているか確認して下さい。** **⑥ 他の HDMI ケーブルと交換してから、再度接続して下さい。** **⑦ 映像信号変換機、スプリッターなどを使用しないで下さい（対応しておりません）。** **⑧ ER130 を使用しないで、ゲーム機を直接テレビに接続してみて、映像が映るかどうかご確認して下さい。もしくは、他のテレビを使用してみてください。（ER130 が故障しているかどうか確認します）**
ER130 の電源を入れても画面が映りません	下記の方法で確認して下さい： ① 本体前面の LED ランプが緑に点灯しているかを確認して下さい。 ② 解像度 480i 以上の映像ソースをご利用ください。
ディスプレイと入力機器の電源が入っているのにパススルーが有効にならない	下記の方法で確認して下さい： **①** 設定でパススルーが有効になっているか確認して下さい。下記の方法でパススルーの設定をして下さい。【メインメニュー】→【設定】→【A/V 管理】→【パススルーの設定】を有効にしてください。 ② ディスプレイ・テレビが 1080p など入

	力機器の出力する解像度に対応しているか確認して下さい。
HDMI 入力の映像が録画できない	HDCP で保護された映像（PS3、市販の映画 BD/DVD）は録画できません。
HD（720p 以上）の解像度で録画した動画を再生した時に、早送りされたり映像が止まったりする。	**高い解像度(1080p)で録画した場合、通常時よりも高い映像処理が必要な場面に対 しては、映像の一部が早送り･コマ落ちする可能性があります。一部のシーンでそのような現象が起こる場合があります。以下の回避方法を試して下さい：** ① ディスクをフォーマットして下さい（実行前に必ずファイルをバックアップして下さい）。 ② 録画する動画の解像度を下げて下さい（入力機器に設定がある場合）。 ③ 録画の画質を下げて下さい：設定方法は：【設定】→【動画/静止画の設定】→【動画の画質】にて、「長時間録画」を設定してください。 ④ USB HDDを使用する、若しくは他の USB HDD に交換して下さい。（USB メモリを使用すると、「録画中止」という現象が発生する恐れがあります。）
録画解像度をどうやって調整しますか。	本体にて調整できない為、ゲーム機側にて調整して下さい。
録画音声をどうやって調整しますか。	本体にて調整できない為、ゲームソフト側の設定にて調整して下さい。
ゲーム側で映像出力解像度を 1080i/1080p に設定しても、録画された動画は 720p となってしまうのはなぜですか。	ゲームソフトの最大対応解像度が 720p となっている場合は、ゲーム機側は 720p で出力されます。
録画時間に制限がありますか。	最長録画時間は 8 時間です。録画ビッ

	トレートと録画時間の関係表は本書の１２ページでご参考して下さい。
独立型の PC モニターやノート PC のモニターに ER130 を HDMI で接続しても画面が映りますか。	モニターを接続する際、若しくはパソコンを ER130 の HDMI 入力として録画する際、ER130 の入力映像ソースを解像度 720p に設定し、ER130 をリアルタイムモードにしてください。 モニターを接続している時に、ER130 の入力映像ソースを 720p 以外の解像度に設定する、若しくはスタンダードモードを利用すると、動画再生やプレビューの画面が横線またはぼやけたりする可能性があります。さらに画面に黒枠が発生する場合もあります。 画面が正常に映るようにテレビをご利用ください。

再生に関するトラブル	対処方法
画質が低い	映像の出力機器の設定を確認し 1080p や 720p に設定して下さい。
動画を再生するとガタつく	**録画に使うディスクを交換してからもう一度試して下さい。** この問題が発生した場合は、動画の再生にパソコンを使って下さい。また、録画する際の画質を落とすと解消される場合があります。
録画ファイルが見つかりません	下記の方法で確認して下さい： ① 保存先のフォルダにシステムフォルダ、書込み禁止のフォルダなどを指定しないでください。一例として Windows が自動的に作成する「System Vlume Information」、「$RECYCLEBIN」、「MSOCache」、「ProgramData」、「Recovery」などのフォルダはデータの保存先として適切ではありません。 ② パソコンで編集された録画ファイルが ER130 で認識されなくなることがあります。
フォルダーを読み込んだら反応がありません。	もしフォルダーに ER130 に関係のないファイルがあると、読込みが非対応になるか、読込みに時間がかかることがあります。
ER130 で録画した録画ファイルはパソコンで編集してから、ER130 で再生することができますか。	パソコンで編集された録画ファイルは ER130 で認識できません。 ※ 録画ファイルの名前をパソコンで変更したら、ER130 にて再生できます。しかし、"$"、"&"、"("、")"等の特殊文字は使用できません。
ER130 で録画したファイルが、ゲーム機（PS4、PS3 など）で再生することができません	ER130 で録画したファイルは、ゲーム機やスマホ、タブレットなどで再生できない可能性もあります。

パソコンで再生すると、映像がブレる	**再生ソフトでインターレース解除の設定をして下さい。** 再生ソフトによってはインターレースの映像（1080i／576i／480i）を正常に再生できない場合があります。
お薦めのパソコン用メディアプレーヤーはありますか。	以下の無料ソフトをお薦めします： ・VLC Player 1.1.11
録画ファイルを再編集するための、お薦め編集ソフトはありますか	以下の編集ソフトをご利用頂く事が可能です。 ・CyberLink PowerDirector 10 ・Arcsoft TotalMedia ・Adobe Premiere Pro CS6 Version: 6.0.0(319(MC: 264587)) ※ 録画ファイルを編集ソフトで再編集されますと、ER130 で認識されなくなりますのでご注意ください。
ER130 の編集機能は、別の録画装置からのファイルに対応しますか。	いいえ。対応していません。

ファイル管理に関するトラブル	対処方法
目的のファイルが見付けられない	全てのファイル名は日付けと時間を元に作成されます。ファイル管理の画面ではファイル名、動画の長さ、ファイルサイズで並べ替えられるので、見付けやすい方法で並べ替えて下さい。時間設定が正しくないと、実際の時間とファイル名が一致しないため、見付けにくくなります。 ・ファイル名の例

	2014 年 12 月 16 日の午後 14:27 に録画した場合： 141216-1427 編集した場合は末尾に（Edit-1）が付きます： 141216-1427 (Edit-1) 編集が 2 回目の場合は（Edit-2）となります： 141216-1427 (Edit-2)
記録したファイルがパソコン上で見付からない	ER130 は、設定に関わらず、ディスク上の全てのフォルダーを検出します。そのため、記録先の設定によっては隠しフォルダーなど標準設定ではパソコン上で見えないフォルダーに記録してしまう可能性があります。もしパソコン上で記録したファイルが見えない場合は、以下を試して下さい： ① 保存したフォルダーが通常の設定（隠しフォルダー、ロックされたフォルダーなどではないか）を確認して下さい。 ② Windows のインストールされたパソコンを使って下さい。リナックスは Windows で設定された隠しフォルダーは表示しません。

その他のトラブル	**対処方法**
ファームウェアのアップデートに失敗する	**以下の方法を試して下さい。** ① アップデート用のファイルがフォルダーに入っていると検出できません。USB ディスクのルート（Windows のエクスプローラーで開いた際に、フォルダーが無い状態） にファイルをコピーして再度試して下さい。

	② 作業用の領域が USB ディスクに最低 256MB 必要です。ファームウェアのファイルをコピーした後、256MB 以上空きがあることを確認して下さい。 ③ アップデート用のファイル以外のファイルが USB ディスクに保存されていると、検出に失敗することがあります。アップデートに使う USB ディスクは、事前に全てのファイルを消すか、フォーマットすることを推奨しています。
リモコンが操作できません	赤外線センサーに向けて操作して下さい（正確に操作するには、角度は真正面から30°以内、距離は6メートル以内で使用して下さい）。向けても反応しないときは、近づいて操作してください。リモコンの電池が切れている場合、リモコンのボタンを押しても反応しません。新しい単4形電池2本を用意し、交換してください。

安全のために、必ずお読みください

警告 この警告を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

禁止

■本製品の修理・分解・改造をしないでください。
■本製品は小さなお子様が手を触れないようにしてください。
■安全のため接続手順をこの説明書に従って行ってください。
■火災や感電の危険があるので、本製品をお客様ご自身で修理したり、組み立てを行わないでください。
■火災や感電の危険があるので、本製品をぬらしたり、ぬれた手で扱わないでください。
■火災や感電の原因となるので、長時間電源をいれたままにしないでください。

リモコンの電池について

■電池を取り扱うときは、次のことを守ってください：
・分解・改造・修理・充電しない。
・使用した電池と未使用の電池、種類の異なる電池や異なるメーカーの電池を混在して使用しない。
・電極の十と一を間違えて挿入しない
・十と一を金属やはんだでつなげない。
・消耗しきった電池をいれたままにしない。
以上のことを守らないと、液漏れ・発熱、発火、破裂し、やけど・けがをすることがあります。
■電池を使用・交換するときは、指定の電池を使用してください
指定以外の電池を使用すると、液漏れ・発熱・破裂し、やけど・けがをする恐れがあります。

AC アダプターについて

■物を載せたり、かぶせたりしないでください。
熱がこもり、火災の原因となる場合があります。
■保温・保護性の高いものの近くで使わないでください。
（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
火災、感電の原因となるが場合があります。
■ケーブル部・アダプターを壊さないでください。
・故障したままの状態で使用していると、感電・ショート、火災の原因となります。
以下のような事をしないでください：
・傷つける ・加工する ・熱器具に近づける ・無理に曲げる ・ねじる
・引っ張る ・重いものを載せる ・束ねる
■電源コンセントや配線機器の定格を超えた使い方や交流 100V 以外での使用はしないでください。
たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
■ぬれた手で AC アダプターを触らないでください。（感電の原因となります。）
■電源コンセントの周りに物を置かないでください。（AC アダプターが抜けやすくなります。）

取り付け・接続の際は、以下を厳守してください
家電・火災・発煙の原因となります

■作業の前に、本製品を接続する機器および周辺機器の電源を切り、コンセントから抜いてください。
■接続ケーブルなどの部品は、付属品または指定品をご使用ください。

VCCI Class B Statement

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI－B

厳守

AC アダプターについて

■必ず付属のACアダプターを使う
他のACアダプターを使うと、火災や感電の原因となる場合があります。
●付属のACアダプターは本製品専用です。他の機器に使わないでください。
■電源プラグのほこりは定期的に掃除してください。
湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
■抜くときは、ACアダプターを持って抜いてください。
ケーブル部分を引っ張ると、破損し、感電、ショート、火災の原因となります。
■正しいコネクターに接続してください。
煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。
■パソコンの電源を切って、コンセントからプラグを抜いてください
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
■長期間使わないときは、ACアダプターを抜いてください。
ACアダプターを長期間接続していると、電力消費・発熱します。
また、電源プラグにほこりがたまり、火災や感電の原因となる場合があります。
■ACアダプターを抜くときは、先に電源コンセント側から抜いてください。
感電の原因となります。
■電源プラグは根本までしっかり差し込んでください。
不完全に差し込むと、感電や発熱による火災の原因となります。
●痛んだプラグ・ゆるんだ電源コンセントは使わないでください。

Paragon SOFTWARE GROUP

This software uses libraries from the Libav project under the LGPLv2.1.

This product uses Arphic Font. Fonts by Arphic, Copyright © Arphic Technology Co., LTD All Rights Reserved.

情報

本製品は、第二種情報装置（住宅地域又はその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で、住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置など電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しております。しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に接近してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●顧客プライバシー保護

AVerMediaは、お客様との取引やサービスを提供するためにお客様の個人情報を収集し、その範囲内で収集した個人情報を利用します。また、収集したお客様の個人情報は、お客様の承諾を得ない第三者には提供・開示しません。

製造元：AVerMedia Technologies, Inc.　Webサイト:http//www.avermedia.co.jp

●お問い合わせ

ご購入後の製品の修理と技術的なお問い合わせ

アバーメディアサポートセンター：AVT.Japan@avermedia.com

※受付時間 9:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

●修理について

・保証期間中（1年間）本体の自然故障につきましては、無料修理いたします。

・自然故障以外又は保証期間以外の有料修理をご希望の場合、まずは修理金額をお見積り致します。その上で修理するかご検討ください。修理依頼いただかない場合は、有料で返送いたします。

※「AVerMedia」はAVerMedia Technologies, Inc.の商標（また登録商標）です。
その他、記載されている全ての商標は各社の所有物です。
※本製品で記録したものを、私的な目的以外で著作権や他の権利者の承諾を得ずに複製・配布・配信することは、著作権や国際条約の規定により禁止されています。
※本製品の使用によって生じるあらゆる直接的・間接的損害に関して、AVerMedia Technologies, Inc.は一切の責任を負いません。

※仕様および外観は製品改良のため、予告なく変更されることがあります。

※製造地：台湾（アクセサリーを除く）

Model No.: ER130
P/N: 300AER130D63
Made in Taiwan
製品種類：キャプチャーボックス